

新学術領域 高濱班・小林班 合同シンポジウム

「ニッチの謎を議論する:免疫器官と生殖器官から見た微小環境の実態、制御、生理的意義」

開催日時: 2014年6月18日(水)13:30 ~ 6月19日(木)12:00

会場: 国際高等研究所 〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地
<http://www.iias.or.jp/>

講演者: **新学術領域「免疫四次元空間ダイナミクス」**

長澤 丘司 (京都大学再生医科学研究所)
福井 宣規 (九州大学生体防御医学研究所)
澤 新一郎 (東京大学大学院医学系研究科)
高田 慎治 (自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンスセンター)

新学術領域研究「動物における配偶子産生システムの制御」

吉田 松生 (自然科学研究機構・基礎生物学研究所)
小川 毅彦 (横浜市立大学医学群分子生命医科学系列プロテオーム科学)
小林 一也 (弘前大学農学生命科学部生物学科)
林 良樹・小林 悟 (自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンスセンター)

主催: 新学術領域「免疫四次元空間ダイナミクス」領域

領域代表: 高濱洋介 (徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター)

新学術領域研究「動物における配偶子産生システムの制御」領域代表

領域代表: 小林 悟 (自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンスセンター)

連絡先: 高田 慎治 (自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンスセンター)

〒444-8787 愛知県岡崎市明大寺町東山5-1

Tel: 0564-59-5241 Fax: 0564-59-5240

E-mail: stakada@nibb.ac.jp

会場案内



こちらの Web page から会場へのアクセスに関する情報がご覧いただけます。

<http://www.iias.or.jp/access/access.html>

プログラム（案）

（講演 30 分＋質問 10 分）

- 1 日目** **6 月 18 日（水）** @ 国際高等研・セミナールーム
- 13:00 – 13:40
- 13:30 – 13:40 開会の挨拶
小林 悟 （自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンスセンター）
- 13:40 – 14:20 マウス精子幹細胞の動態とニッチの実体解明への挑戦
吉田 松生 （自然科学研究機構・基礎生物学研究所）
- 14:20 – 15:00 骨髄の造血幹細胞・前駆細胞ニッチ
長澤 丘司 （京都大学再生医科学研究所）
- 15:00 – 15:30 休憩
- 15:30 – 16:10 In vitro において精子形成を継続するには？
小川 毅彦 （横浜市立大学医学群分子生命医科学系列プロテオーム科学）
- 16:00 – 16:40 自己と非自己識別における胸腺微小環境の役割とその制御
福井 宣規 （九州大学生体防御医学研究所）
- 16:40 – 18:30 休憩
- 18:30 – 20:00 夕食／懇親会 @ 国際高等研・コミュニティーホール
- 20:00 – 20:40 プラナリア生殖幹細胞の決定は'超後付け'で、無性個体は生殖細胞を作らない
～そんな無性個体に生殖器官を誘導する有性化因子について
小林 一也 （弘前大学農学生命科学部生物学科）
- 20:40 – 21:20 リンパ節形成に必要な微小環境
澤 新一郎 （東京大学大学院医学系研究科）

21:20 - 23:00 総合討論 1

(参加者からの話題提供などがあれば積極的に受け付けます。話題数に応じて、プログラムを変更することがあります。)

2 日目 **6 月 19 日(木)** @ 国際高等研・セミナールーム

9:30 - 10:10 ショウジョウバエ生殖幹細胞ニッチにおけるヘパラン硫酸プロテオグリカンの役割

林 良樹・小林 悟 (自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンスセンター)

10:10 - 10:50 Wnt の構造多様性と微小環境における空間分布

高田 慎治 (自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンスセンター)

10:50 - 11:50 総合討論 2

(参加者からの話題提供などがあれば積極的に受け付けます。話題数に応じて、プログラムを変更することがあります。)

11:50 - 12:00 閉会の挨拶

高濱 洋介 (徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター)